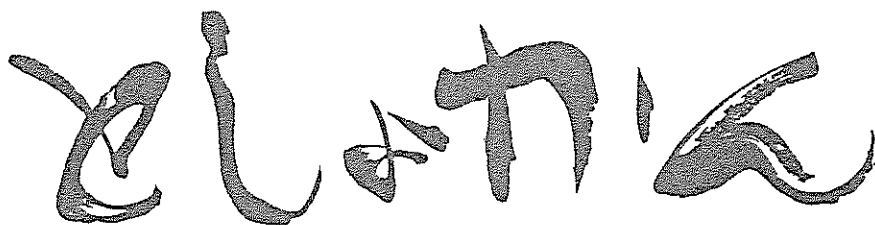


宇都宮市民憲章

- 1 健康で、心のふれあう明るいまちをつくりまします。
- 2 きまりを守り、活気あふれる楽しいまちをつくりまします。
- 3 学ぶことを大切にし、文化の薫る美しいまちをつくりまします。



編集・発行 宇都宮市立図書館 明保野町7番57号 〒320 TEL 36-0231



雑誌でキャッチ!!

時代のウェーブ!

雑誌月間—7月21日—8月20日—

図書館の各階には、それぞれ雑誌コーナーがあり、全部で330タイトルの雑誌が並んでいます。その中から、創刊号から継続して所蔵している雑誌について、紹介いたします。

「アサヒグラフ」週刊 A4変型

判 朝日新聞社 創—一九二三

・十一・十四

時事、ニュース、トピックス、旅など、報道写真を中心にしたグラフィック誌。

「朝日ジャーナル」週刊 B5判

朝日新聞社 創—一九五九・三

・十五

報道、解説、評論を柱として出版したが、二十五周年の一九八四年四月から、軽薄短小の風潮に抗し「面白い、役に立つ、わかりやすい」を原則に再出発した。

「クライス」季刊 A5判 社会

評論社 創—一九七九・十

終刊—一九九〇・一

資本主義のみならず、社会主義の中にも多くの問題を抱える現代史が、今後どのような方向に行くのかを、毎号、テーマ特集によつ



て政治、経済、芸術、自然科学など、多面的にアプローチする。

「暮らしの手帖」隔月刊 A4変型

判 暮らしの手帖社 創—一九四

八・九

故・花森安治の創刊になる消費者レポート誌。公平な商品テスト、初めての人でも出来る料理など、毎日の暮らしを少しでも良くするための雑誌。

「子どもと本」季刊 A5判 子

ども文庫の会 創—一九八〇・四

子どもの読む本を、子どもが読んでいく順にとりあげたりリストの掲載、絵本の紹介、座談会の収録、

物語の連載など。

「史学雑誌」月刊 A5判 山川

出版社 創—一八八九・十二

東京大学文学部内史学会で編集

されている、西洋史、東洋史、国

史の学術研究誌。「史学会雑誌」

の誌名で創刊、一八九二年十二月

より「史学雑誌」と改題。

「ジュリスト」月2回刊 B5判

有斐閣 創—一九五二・一

法律問題のもとより、重要な社

会事象についても、その法律的意

義を迅速に報道し、正しく解説を

し、中正な批判をする。

「思想」月刊 A5判 岩波書店

創—一九二一・十

哲学・人文科学・社会科学の諸

分野において、つねに時代の最先

端を示し、内外の新しい潮流をい

ち早くキャッチし紹介していく、

学術総合誌。

「太陽」月刊 A4変型判 平凡

社 創—一九六三・七

カラーグラフィックマガジン。

日本の現代文明から伝統文化まで、

さまざまなテーマを特集企画に組

み、美しい写真と達意な文章で紹

介する娯楽誌。

「Newton」月刊 A4変型

判 教育社 創—一九八一・五

大自然の驚異や現代科学の最前

線の話題を、第一級のカラー写真

と超精密イラストレーションをふ

んだんに使って紹介する科学雑誌。

「法セミ」月刊 B5判 日本評

論社 創—一九五六・四

一般社会人や学生を対象として

時事的な法律問題や基礎的な法学

理論を、わかり易く解説する教養

雑誌。

「法律時報」月刊 B5判 日本

評論社 創—一九二九・十二

社会学の始祖ともいわれる、末

弘蔵太郎博士によって創刊された、

法と社会への鋭い問題意識に裏打

ちされた雑誌。

「タウン誌うつのみや」月刊

B6判 ピノキオ社 創—一九

六九・十二

タウン情報誌というより地域文

化誌。新聞やメジャー誌では拾え

ない地方文化をとりあげ、「新し

い郷土の創造」を目指している。

「タウン情報もんみや」隔月刊

B5判 新潮プレス 創—一九

七七・九

宇都宮市を中心に栃木県下

を対象にした行動派人間のための

総合情報誌。コンサート、イベン

トなどを盛り込んだ「インフォメ

ーションコーナー」と、読者間の

交友の場としての「コミュニケーション

ションコーナー」に分かれている。

ふるちとの本を紹介



21世紀の宇都宮を考える

『明日を創る』

宇都宮市編・刊、一九八五年。
宇都宮の都市づくりについて考
えてみようと思っている方には非
読んでいただきたい一冊です。

本書は、たくさんの方々に、都
市づくりを身近な問題として議論
していただくきっかけとなること
を願って作られました。

四部構成からなり、一個人の思
想の本とは異なり、多くの人々の
都市づくりに対する具体的かつ建
設的な意見の記録集です。

第一部の歴史を語るは、元宇都
宮市長（昭和22年～昭和42年）の
佐藤和二郎氏、宇都宮商工会議所
会頭（昭和60年当時）の河合順之
助氏、郷土史家の雨宮義人氏の三
人による座談会の記録です。戦災
復興時の大通りの話や平出工業団
地の工場誘致によるまちの活性化
反面、歴史が死んでしまったこと
など。それでも、明るい町づくり

郷土資料コーナー④

をしようと、過去を語りつつ、未
来へと想いは、ふくらんでいきま
す。都市の必要条件である水・緑・
広場についての話には、興味を持
たれる方も多いのではないと思
います。

第二部の40万都市を考えるは、

昭和59年に行なわれました「40
万都市を考える」と題するシンポ
ジウムの中から、「特別講演」、
「パネルディスカッション」の模
様を詳しく紹介しています。特別
講演の講師は、菊竹清訓氏で、氏
の職業は、建築家であり、都市づ
くりの講演も、具体的に説得力を
持っています。パネルディスカッ
ションは、21世紀に向かって、都
市環境や産業や文化についてどう
いう方向でまちづくりをしていけ
ばよいかを一緒に考えようという
趣旨で行なわれています。また、
第三部、明日を創るは、市内外の
各分野で活躍されている、あるい
は、宇都宮市に何らかのゆかりを
持つておられる方々、101人の皆さ
んによる21世紀の宇都宮への提言
です。そして、宇都宮市の意外と
知られていない史実や自然を第四部
ふるさと再発見で紹介しています。

「かよい袋」の貸与開始！

子どもの本を借りる方のた
めに「かよい袋」という、黄
色のバッグを作成し、7月10
日より貸与を始めました。
このバッグは雨の日や、本
をたくさん借りたけれど入れ
るものを持ってこなかった時
などに利用していただくもの
です。

貸与の方法は、宇都宮市立
図書館・中央公民館図書室・
雀宮公民館図書室では、「かよ
い袋貸出申込書」に、氏名・
住所・電話番号・貸出券のナ
ンバーを記入して、カウンターに
出していただきます。移動図書館
では係の人に申し出ていただく
だけでOKです。

使用上の注意として、
●バッグはひとり一枚の貸出です。
失くしたりしないで下さい。

●本の返却だけの時や、自分の
バッグを持ってきた、かよい袋
を使わなくなった時は返して下
さい。

●他の人も使いますので、てい
ねいに使って下さい。
などです。

子供の心の栄養源としての本を
借りる時、ぜひ、この「かよい袋」
を活用して下さい。

閲覧室の利用について

閲覧室席次表

16	17	46	47	74	75	104	105	136	137	168	169	200	201
15	18	45	48	73	76	103	106	135	138	167	170	199	202
14	19	44	49	72	77	102	107	134	139	166	171	198	203
13	20	43	50	71	78	101	108	133	140	165	172	197	204
12	21	42	51	70	79	100	109	132	141	164	173	196	205
11	22	41	52	69	80	99	110	131	142	163	174	195	206
10	23	40	53	68	81	98	111	130	143	162	175	194	207
9	24	39	54	67	82	97	112	129	144	161	176	193	208
8	25	38	55	66	83	96	113	128	145	160	177	192	209
7	26	37	56	65	84	95	114	127	146	159	178	191	210
6	27	36	57	64	85	94	115	126	147	158	179	190	211
5	28	35	58	63	86	93	116	125	148	157	180	189	212
4	29	34	59	62	87	92	117	124	149	156	181	188	213
3	30	33	60	61	88	91	118	123	150	155	182	187	214
2	31					90	119	122	151	154	183	186	215
1	32					89	120	121	152	153	184	185	216

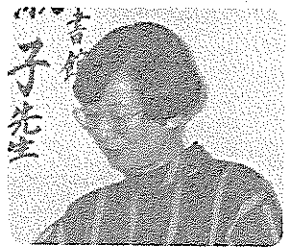
閲覧室は、最近、特に学校の試
験前などは雑然とした状態になっ
ており、真剣に勉強している人な
どからの苦情も少なくありません。
閲覧室利用の際は、私語を慎み
静かに利用して下さい。
また、夏休み期間中や日曜日な
ど整理券を発行する場合の座席指
定の方法が変わります。下の図
のように机に番号を付してありま
すので、配布された番号と同じ机
で利用して
下さい。

読書アンケートに協力を！
8月15日(水)から26日(日)まで「読
書アンケート」と「図書館利用ア
ンケート」を実施します。
図書館の活性化、発展を図るた
めには、利用者の皆さんの声は不
可欠です。一人でも多くの方が調
査に参加してくださるよう、ご協
力をお願いします。

社会人席

カウンター 入口

第1回 子どもの世界・本の世界



6月3日に行われた第1回目は講師に、竹中淑子氏をお迎えした。入門講座の第1回ということ子どもが本に出会う初期の段階について、次の様に語られた。

子どもにとって本を読むことは何よりも楽しむためである。その本を選ぶには、子どもの本を知ると同時に子どもを知ることが大切である。子どもが本に触れる第一歩が読み聞かせであり、子どもは絵本を読んでもらい、読みものへ移行するが、その間を何度もいきつ戻りつして自分のものにしていくものである。お母さんやお父さん方は、子どもが自分で読めるようになったからといって、読んで聞かせるをやめてしまわないで欲しい、と結ばれた。実践者としての体験を交えてのお話で、説得力もあり、受講生も熱心に聞き入っていた。

第2回は、6月17日に行われた。講師は、中村順子氏。まず、子どもたちから教わった

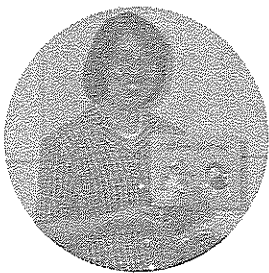
ことを基に絵本を紹介するので、どうしてこの本がおもしろいのかを肌で感じて欲しい、と語られた。早速絵本の紹介に入ったが、まず「ノルウェー民話の「七人ききのおやじさま」というお話をして、大人はイメージを描けるが、経験の少ない子どもはイメージを描けない。それを補うための絵がある」と話に入りやすい。だから、子どもが一つ一つめに出会う本が絵である、とおっしゃった。

子どもの本の入門講座 “子どもの本”て どのような？

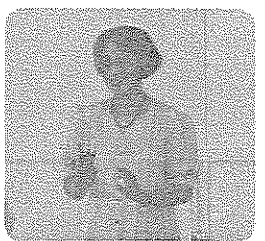
東京子ども図書館の職員を迎えて

「くり返しが入って子どもが楽しめる本」「少しストーリー性が欲しくなったら紹介する本」など系統的に紹介してください。講座の中で紹介した絵本は、「いぬがいつぱい」「ちいさなうさぎちゃん」「ティッチ」「てぶくろ」他。

第2回 絵本を中心に



第3回 よみもの・昔話を中心に



6月30日に行われた第3回は、須藤早苗氏を迎えました。

まず、子どもが絵本からよみものへと移行する時期に大切なことなど、総括的なことを次のように語られた。

字が読めることと、お話を楽しくむということは違うので、絵本を卒業した後に本を与える際に楽しめるように配慮しなければならぬ。そのためには大人が、子どもが自分で読め、かつ楽しめる本を選んで読み聞かせ、中身の紹介などをしあげるとよい。

本を選ぶ際に大切なことは、何よりもその本がおもしろいということ、子どもが主人公の身になって体験し、感じるによつて一つの新しい世界に入れる、ということである。

その後、読み聞かせを入れながらこの時期に勧めたい物語、昔話の紹介をした。講座の中で紹介した本は、「いやいやえん」「車のいろは空のいろ」「ゆかいな吉四六さん」他。

巡回文庫（公民館・分館）

増冊本年度達成！！

図書館では、昭和61年度から5年計画で、巡回文庫の配本冊数の増冊を進めています。本年度が増冊の最終年度にあたります。

なお、本年度分として、左表の3カ所を増冊予定しています。

区分	配本所		
	一般	児童	紙しばい
中央公民館・雀宮公民館・姿川公民館を除く13の公民館	22	22	22
うち、図書館から比較的距離の遠い11の分館に巡回文庫として図書を配本しています。			
分館は、スベ			
1スの関係で増冊できない東・錦の2館を除き、本年度増冊した峰を含め、これで当初予定していた全ての分館で、100冊から500冊以上の増冊を完了したことになります。			
公民館は、当初から100冊の所が、国本・篠井・富屋と3カ所ありましたが、昭和61年度よりス			

ベースの関係で増冊のできなかった城山・南の2館を除き、順次増冊し、平成2年度において全ての公民館で、1000冊〜5000冊の範囲での配本を完了したことになります。

配本した図書は、できる限り新しい図書とするため、配本所を5グループに分け、グループ内で順送りする方法をとり、毎週木曜日にその1グループの入れ替えを行なっております。

目安箱

問 喫煙所を廃止してください。
答 現在の状況を考慮して一階プラウジングコーナー奥の喫煙所を廃止しました。

問 二階閲覧室の飲食を禁止してほしいのですが。
答 利用者の要望が多いため閲覧室では昼食時間の午後0時から午後一時までの飲食を認めていますので御理解ください。

目安箱は図書館運営に大いに役立っています。皆さんの率直な意見をお寄せください。

第6回
栃木子どもの本サミットスクール

「子どもに読書のよろこびを」
をテーマに今年も栃木子どもの本
サミットスクールが開催されます。
日時 平成2年8月18日・19日
場所 プラザ・イン・くろかみ
定員 200名(宿泊60名)
参加費 一万三千元
申込み 直接、サミットスクール実
行委員会へ。

第1回
子どもと
本との本を
つなぐ講座

次のとおり開催いた
します。講師は『もり
のゆうびんきょく』な
ど『もりの』シリーズでおなじ
みの舟崎靖子先生です。ぜひお出
かけください。

ニュース
コーナー

秋に始まる
新講座
〈連続講座〉
学問の窓

第48回 落語会

落語会をのんき亭喜楽一門会の
協力により行ないます。

落語会の模様をテープに録音し、
視力障害者の皆さんに、郵送貸出
しています。寄席の雰囲気を感じ
ためには、皆さんの笑い声が一番
です。多くの方々のご来場をお待
ちしております。入場は無料です。
日時 9月22日(土)午後3時から
場所 市立図書館3階集会室

日時 平成2年9月2日(日)

午後1時30分～3時30分

場所 宇都宮市東公民館

定員 120名

受付 8月24日(金)午前9時30分

電話あるいは直接図書

館へ。

託児 1才以上で、定員20名。

受付の時、予約してくだ
さい。

さまざまな学問分野の第一線で
活躍されている研究者を迎えて、
わかりやすく現状を解説してい
たきます。

日時 10月7日(日)、10月28日(日)

11月18日(日)

午後1時30分～3時30分

講師 小池清治氏

テーマ「日本語とはどういう言語

か―国際化時代の日本語―

受付 9月下旬の予定です。

どうぞご期待ください。

ボランティアのみなさん
ありがとうございます

点字・声の図書製作
状況(2年5・6月)

▽点字図書「要説徒
然草」「ジャパニーズ・
ドリーム」ほか、21タ
イトル45冊。
▽声の図書「ペシ
ヤワールにて」「第三
折々のうた」ほか20タ
イトル89巻。

郵送貸出利用状況(5・6月)

▽点字図書 12人 40冊
▽声の図書 38人 38冊
▽雑誌 40人 41巻
▽墨字本 672人 1075巻
12人 55冊

寄贈

社会経済国民会議(原発論議総

点検、丈創平(丈創平詩片有無、
内田玲子(幸せの直線コース、板
戸市教育委員会(板戸風土記、流
山市立博物館(流山市史民俗編、
戸田市立博物館(戸田市史研究、
鎌倉市(鎌倉市史、近代史料編2、
草加市(草加市史研究、新山恒雄
(自然とともに、霊友会(生かし
あつていのち、川崎市(川崎市史
研究、山下和夫(オリジナル和紙
ろうけつ染作品集、春日部市(春
日部市史近代史料編V)、他多数。

利用案内

○開館時間

午前9時30分～午後7時
ただし、児童図書室は
午前9時30分～午後5時

○休館日

毎週月曜日
国民の祝日

○貸出は

図書・紙芝居 5冊
レコード・CD 5点
ビデオ・16ミリフィルム 5点

○講座の問合せ・申込み
電話または直接図書館へ
電話(36) 0231

貸出状況

区 分	2年5月	2年6月
登 録 者 数	144,525人	145,153人
貸 出 人 数	館 内	11,583人
	館 外	1,293
	中央公民館	746
	雀宮公民館	767
	計	14,389
貸 出 冊 数	館 内	39,986冊
	館 外	5,524
	中央公民館	2,456
	雀宮公民館	2,966
	計	50,932

(注) 登録者累計数は、開館からの累計数

8月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
			①	2	3	4
5	⑥	7	8	9	10	11
12	⑬	14	15	16	17	18
19	⑳	21	22	23	24	25
26	㉑	28	29	30	31	

9月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
						①
2	③	4	5	6	7	8
9	⑩	11	12	13	14	⑮
16	⑰	18	19	20	21	22
23	⑳	㉑	26	27	28	29